

日本産業衛生学会

近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会
〒602-8048 京都市上京区下立売通
小川東入ル
中西印刷株式会社（日本産業衛生学
会近畿地方会事務局支局）
発行責任者・中西一郎（地方会長）
<http://jsoh-kinki.jp>

第69回日本産業衛生学会近畿地方会総会は書面開催とさせていただきます

近畿地方会長 中西 一郎

平素は学会運営にご協力賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受けて地方会幹事で検討しました結果、今年度も6月19日に予定しておりました第69回日本産業衛生学会近畿地方会総会は書面開催に、学術講演会につきましてはオンラインで開催とさせていただきます。なにとぞご了承のほどお願いいたします。

総会の書面開催につきましては、第1号から第5号議案を本ニュースの該当ページでご確認の上、同封の議決権行使書に賛否をご記入のうえ返送ください。

- 第1号議案 2020年度近畿地方会事業報告（4頁）
- 第2号議案 2020年度決算報告（3頁）*1
- 第3号議案 2020年度監査報告と監査意見（5頁）
- 第4号議案 2021年度事業計画案（5頁）
- 第5号議案 2021年度予算案（3頁）*2

なお、議案に「否」をつけられた方は、ご質問・ご意見を kinki_kaicho@yahoo.co.jp に6月7日までにお願いいたします。

幹事会で検討し返答させていただきます。

*1 決算について補足します。

収入の部では、総会の特別プログラムを開催しませんでしたので参加登録料収益は0円でした。本年度は選挙の年でしたので本部からの地方会会員数に応じて助成される助成金が選挙助成金108,550円を含む1,964,489円となりました。

支出のうち、事業費では総会の特別プログラムがなかったことで削減になっています。また第60回近畿産業衛生学会も中止となり実行委員会が66,993円を使ったのみとなり、それを助成金としております。大学・部会・研究会の連携プロジェクトはこちらもオンライン開催となり、費用発生はありませんでした。委託費も総会・特別プログラム等がリアルで開催がなかった関係で産業保

健アシストに支払う委託費が発生せず、事務支局の中西印刷への支払いとなりました。なお、本年度より郵便局のシステム変更があり、皆さまの活動費を振り込んでいただいている口座のシステム使用料7,975円が発生しております（今後も発生します）。開発保守費はホームページの更新とサーバーのレンタル料で例年320,000円を支出しています。このほかに近畿産衛学会のサイトに50,000円を予算化しておりましたが、今年は開催がなかったもののサイトは構築しましたので半額の25,000円を支払っております。（合計345,000円）

支出のうち管理費では幹事会をオンラインで開催したことによって費用削減となりました。選挙関連費用では地方会ニュースの7月号がなくなり、選挙関連のみでの郵送物がありましたが、予算内に収めることができました。また委託費も、書面総会・代議員会のはがき集計その他で産業保健アシストに40,000円を支払った他は会員管理の中西印刷への委託費だけとなり、削減となりました。

*2 予算案について補足します。

本予算は昨年11月に本部に提出しており、その時点で総会等のリアルな開催について読み切れませんでしたので、事業費につきましてはある程度の予算建てをしております。ニュース発行は例年通り2回を見込んでおります。管理費ではこちらも11月時点では予測が難しかったのですが、リアルな幹事会・代議員会が1回程度はできるであろうと考え例年よりも少ないですが、予算化しております。

■代議員の皆様へ

代議員会も書面開催といたします。代議員用の議決権行使書を同封いたします。総会の議決権行使書と併せて返送お願いいたします。

■幹事の皆様へ

web上の幹事会を開催いたします。別途案内いたします。

第 69 回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会

日 時：令和 3 年 6 月 19 日（土） 14：00～16：00

場 所：ZOOM で開催。

2019 年 12 月に中国・武漢で発生した新型コロナウイルスによる感染症は COVID-19 と命名され、感染は全世界に拡大し、1 年以上経過した現在でも終息への道筋は見えない状況です。このため、数多くの事業場の就業に多大な影響が出ています。現在、関西地方を中心に、英国型変異株（VOC-202012/01）の波が到来し、医療は逼迫している状況です。この変異株は、従来型に比し、重症化率が高く、PCR の陰性化に日数を要し、比較的若い世代においても重症化するという特徴を持っています。こうした状況の中、産業保健職は、事業場の労働者の感染予防、健康確保、就労継続の支援の実施を求められています。日本産業衛生学会では、日本渡航医学会と共同で、「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド」を発行し、職域および従業員の感染リスクの軽減・事業維持・再開を支援して参りました。

今回の特別講演は、「新型コロナウイルスに対する産業保健」をテーマとして、産業保健に関わる医療従事者の方々に新型コロナウイルス蔓延時における産業保健活動をどのように行うべきかに焦点をあて企画を行いました。特別講演では、大阪労働局労働基準部健康課長の吉田泰彦様に、「最近の労働衛生関係政省令の改正について：法令から見たコロナ禍での産業保健の注意点」と題しまして、ご講演を賜る予定です。また、もう一つの講演は、アッシュコンサルティングサービス合同会社代表（産業医）の鈴木英孝先生に、「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイドの現場への展開について」と題してご講演を賜ります。鈴木先生は上述のガイドライ

ンの執筆者のお一人です。

今回は、ZOOM による web 開催になりますが、会員皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

〈プログラム〉

テーマ：「新型コロナウイルスに対する産業保健」

特別講演 1（14：00～15：00）

「最近の労働衛生関係政省令の改正について：法令から見たコロナ禍での産業保健の注意点」

座長：大阪市立大学大学院医学研究科産業医学

林 朝茂

演者：大阪労働局労働基準部 健康課長 吉田泰彦

特別講演 2（15：00～16：00）

「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイドの現場への展開について」

座長：京都工場保健会

森口次郎

演者：アッシュコンサルティングサービス合同会社

代表（産業医）

鈴木英孝

〈参加費〉

日本産業衛生学会員：無料

〈単位申請〉

日本医師会産業医認定単位：今回の単位はありません。

日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度研修：単位申請中

〈申し込み方法・参加方法〉

近畿地方会ホームページに掲載予定です。



2020年度近畿地方会収支報告および2021年度予算

第2号議案、第5号議案

1. 収入の部

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	2021年度予算額	決算額の備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	450,000	0	0	
協賛金等収益	0	0	0	
参加登録料収益	450,000	0	0	総会特別プログラムなし
受取補助金等	1,600,000	1,964,489	1,800,000	
受取本部助成金	1,600,000	1,964,489	1,800,000	第3三半期振り込み分反映済み(確定)
受取地方公共団体助成金				↑選挙助成金 108,550 含む
受取負担金	2,000,000	2,226,000	2,160,000	
受取活動費	2,000,000	2,226,000	2,160,000	
雑収益	30	40	0	
受取利息	30	40	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	4,050,030	4,190,529	3,960,000	

2. 支出の部

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	2021年度予算額	
事業費	3,265,400	2,322,803	3,465,000	
臨時雇賃金	60,000	0	50,000	総会特別プログラムなし
会場費	150,000	0	100,000	総会特別プログラムなし
旅費交通費	0			
通信運搬費	20,000	2,826	20,000	
印刷製本費	170,000	63,107	100,000	総会出欠葉書、抄録、ニュース封筒印刷
懇親会費	0		0	
消耗品費	5,000	0	5,000	
機関紙印刷費	290,400	290,400	300,000	地方会ニュース印刷費
機関紙編集費	0	0	0	
機関紙発送費	250,000	264,302	270,000	地方会ニュース発送費
研究費	50,000	0	50,000	大学・部会・研究会の連携PJ (zoom)
諸謝金	100,000	0	100,000	総会特別プログラムなし
学会助成金	0		0	
協議会助成金	0		0	
大会研修会助成金	500,000	66,993	500,000	近畿産業衛生学会助成金(中止)
部会助成金	150,000	300,000	450,000	150,000円×2部会(技術部会は辞退)
研究会助成金	100,000	100,000	100,000	50,000円×2研究会
委託費	1,040,000	887,975	1,040,000	事務支局(88万円) ¥7,975 郵便局
開発保守費	370,000	345,000	370,000	HP関連(例年+60回近畿産衛サイト2.5万)
雑費	10,000	2,200	10,000	振込手数料等
管理費	1,526,000	868,190	456,000	
給料手当	0	0	0	
理事幹事会費	150,000	0	25,000	
旅費交通費	75,000	7,280	25,000	会計監査交通費
通信運搬費	45,000	56,202	60,000	総会・代議員会出欠はがき受取手数料
役員改選費	800,000	561,673	20,000	印刷費・送料他
印刷製本費	80,000	70,492	80,000	活動費振替用紙、封筒印刷費
消耗品費	1,000	0	1,000	
委託費	372,000	172,000	242,000	総会(4万円) 会員管理(13万2千円)
雑費	3,000	543	3,000	振込手数料等
経常費用計	4,791,400	3,190,993	3,921,000	
当期一般正味財産増減額	-741,370	999,536	39,000	
一般正味財産期首残高	4,966,262	4,966,262	5,965,798	
一般正味財産期末残高	4,224,892	5,965,798	6,004,798	

2020 年度事業報告

第 1 号議案

1. 第 68 回近畿地方会総会

書面開催 賛 469 否 1 無効 1

2. 第 60 回近畿産業衛生学会 中止

3. 代議員会

書面開催 賛 78 否 0

4. 幹事会

第 1 回 2020 年 6 月 17 日 (水) web 開催

第 2 回 2020 年 10 月 28 日 (水) web 開催

第 3 回 2021 年 2 月 22 日 (月) web 開催

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 2 回 (122 号～123 号) 発行。
地方会ホームページを随時更新し、メールアドレス
の登録がある会員宛に研修案内を送るなど地方会会員
に迅速に情報を提供した。

6. 近畿産業医部会

(1) 第 25 回近畿産業医部会研修会：web 開催 9 月 1
日～9 月 30 日

テーマ「新型コロナウイルス感染症禍の産業保健」
109 名参加

基調投稿 新型コロナウイルス対策これまでとこれ
から

国際医療福祉大学大学院公衆衛生学教授
和田耕治

パネル投稿 COVID-19 を経験し、産業保健はどのよ
うに変わる必要があるか

日本産業衛生学会近畿地方会長
中西一郎

COVID-19 に対する企業の防疫管理体制
パナソニック健保組合 健康管理セン
ター所長 伊藤正人

新型コロナウイルス感染症が職域のメン
タルヘルスに及ぼす影響

大阪市立大学神経精神医学教授
井上幸紀

中小企業や分散事業場の切り口

京都工場保健会 森口次郎
コロナ危機

中央労働災害防止協会大阪労働衛生総
合センター 圓藤吟史

COVID-19 流行下における海外勤務者の
健康管理

航仁会西新橋クリニック 大越裕文

様々な事業場での嘱託産業医の経験

豊川産業医事務所 豊川彰博

在宅勤務での健康管理

株式会社リードウエル 深井恭佑

(2) 第 1 回幹事会 2020 年 9 月 23 日メール開催

(3) 第 2 回幹事会 2021 年 1 月 30 日 web 開催

7. 近畿産業看護部会

(1) 定例研修会 中止し 9 月からメールマガジン配信

(2) 産業保健看護専門家制度登録者試験準備講座
近畿会場中止

(3) 幹事会

2020 年 5 月 7 日 (木) 三役会議 web 開催

2020 年 5 月 17 日 (日) リーダー幹事会 web 開催

2020 年 11 月 8 日 (日) リーダー幹事会 web 開催

2020 年 12 月 15 日 (火) 教育担当幹事会 web 開催

2020 年 1 月 16 日 (土) 三役会議 web 開催

2020 年 1 月 30 日 (土) 全体幹事会 web 開催

8. 近畿産業衛生技術部会

(1) 産業衛生技術部会研修会 2020 年 3 月 7 日

「ハラスメント予防教育につながるアンガーマネジ
メント」中止

(2) 総会 近畿産衛学会内で開催予定であったが中止

9. 研究会活動

(1) 産業精神衛生研究会

日時：2020 年 10 月 30 日 (金) 開催

会場：エル・おおさか南館 5 階ホール

テーマ：「ストレスチェック後の集団分析を
めぐって」

(2) 職業性筋骨格系障害研究会

日時：2020 年 11 月 21 日 (土) ハイブリッド開催

会場：滋賀医科大学、大阪府保険医協同組合お
よび web 参加

テーマ：産業医慢性痛セミナー

10. 大学・部会・研究会の連携プロジェクト

日時 2021 年 2 月 20 日 (土) 13:00～15:00

web 開催 46 名参加

奈良県立医科大学 疫学・予防医学講座 (佐伯教授)

11. 代議員選挙

2020 年 9 月 22 日～10 月 7 日

代議員当選者 105 名

以上

2021 年度事業計画 (案)

第 4 号議案

1. 第 69 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：2021 年 6 月 19 日 (土)

I. 地方会総会 書面総会

II. 学術講演会 web 開催で計画

2. 第 61 回近畿産業衛生学会

日時：2021 年 10 月 23 日 (土)

場所：パナソニックリゾート大阪

学会長：伊藤正人 (パナソニック健保組合)

I. 一般演題

II. 教育講演

III. 基調講演

IV. シンポジウム

3. 代議員会

第 1 回 2021 年 6 月 19 日 (土) zoom で開催

第 2 回 2021 年 10 月 23 日 (土) パナソニックリゾート大阪

4. 幹事会

第 1 回 2021 年 6 月 19 日 (土) zoom で開催

第 2 回 2021 年 8 月大阪市内貸会議室予定

第 3 回 2021 年 10 月 23 日 (土) パナソニックリゾート大阪

第 4 回 2021 年 2 月大阪市内貸会議室予定

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 2 回 (124 号～125 号) 発行予定。

地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

6. 近畿産業医部会

(1) 2021 年 10 月 23 日 第 26 回近畿産業医部会研修会を近畿産衛学会内で計画

(2) 幹事会：年 2 回を予定

7. 近畿産業看護部会

(1) 2022 年 1 月 定例研修会：(web 開催予定)

(2) 2021 年 11 月 産業保健看護専門家制度「登録者認定試験準備講座」開催予定

(3) 幹事会：年 3 回開催予定、メールマガジン配信 (随時)

8. 近畿産業衛生技術部会

(1) 2021 年 3 月 20 日 産業衛生技術部会研修会開催

(2) 2021 年 10 月 23 日 近畿産衛学会内で総会を開催予定

9. 研究会活動

(1) 産業精神衛生研究会：年 1 回開催予定

(2) 職業性筋骨格系障害研究会：年 1 回開催予定

10. 近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

11. 若手活性化のための研修会・勉強会等イベント

2020 年度近畿地方会会計監査結果

第 3 号議案

監査報告

私達は令和 2 年度の経理における近畿地方会の職務の遂行を監査するため、地方会長と事務局員から事業の報告を聞き、重要な経理関係書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて監査した結果、次の通り報告します。

- 令和 2 年 3 月 1 日から令和 3 年 2 月 28 日までの収支報告書に記載された、令和 2 年事業年度の収支は適正に表示されているものと認めます。
- 事務局の職務遂行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実の有無については、指摘すべき事実はなく、適切かつ効率的な職務遂行がなされたものと認めます。

以上

公益社団法人 日本産業衛生学会
近畿地方会

令和 3 年 3 月 27 日

監事 廣部 一 章 

令和 3 年 3 月 27 日

監事 鮫島 真理子 

監事からの意見

- ホームページ運用業者は合い見積もりをとってコスト削減を目指すこと。
- 次回の会計監査からは、2つの通帳と2つの小口現金出納帳の4つをまとめて出納帳を作りすべての金の流れを時系列にわかりやすくすること。
- 地方会事務局の仕事を外注するなど会長ほか総務担当幹事の負担の負担を減らすことを検討すること。

2020年度第3回幹事会議事録

日時：2021年2月22日 19:30～20:30

zoom開催

出席：中西、井上、久保田、鈴木、西田、林、荒木、伊藤、岩根、上原、圓藤吟史、圓藤陽子、清原、鮫島、祖父江、堤、長見、濱田、平田、村田、森岡、森山、東、黒木、谷池、深井、藤田、安田

欠席：河津、廣部、丸山、藤岡
参加者自己紹介の後、議事に入る

1. 審議事項

1) 2020年度事業報告(案)

中西会長から、資料に基づいて説明があった。職業性筋骨格系障害研究会は滋賀医大と大阪会場と会場外の参加者をオンラインでつなぐハイブリッド開催で行われた。

2) 2020年度決算報告・2021年度予算(案)

中西会長から、資料に基づいて説明があった。決算は今後利息等の細かい修正はあるもののほぼ確定しており、今年度は選挙が実施されたものの総会や年次学会がなかったため、また幹事会もオンラインで実施したため経費使用が少なく、90万円程度の黒字になる見込み。

3) 2021年度事業計画(案)

中西会長から、資料に基づいて説明があった。

質疑応答

伊藤幹事から意見あり。医部会助成金が予算化されているが、部会助成金は過去辞退してきており、医部会としては予算にあげていなかった。医部会の研修会(近畿産衛学会内で開催)で収入が上がりれば返金するようにしたい。

4) 次期地方会体制について(事務局作業の分担)

中西会長から資料に基づいて説明があった。事務局のOHアシスト(河村さん)が離れることとなり、委託分の作業を幹事で吸収する必要がある。総務・財務を担当する幹事を増やして一旦担当することとする。合わせて外部委託も検討していく。広報の担当はニュースの依頼がやりやすいように各部会担当を置くこととした。医部会・技術部会は部会長に、看護は広報担当幹事をニュースの依頼先とする。

質疑応答

森岡幹事：OHアシストに委託した業務はいろいろあったと思うが、すべて幹事でやっていく予定か？幹事の負担があまり大きいようであれば、委託先も検討されるとよい。
中西会長：実際の委託先も探すのはむづかしい面がある。以前見積もりを取ったが、大手は現金のやり取りを一切しないし、小さなところは費用面では検討に値したが人手がないとのことで、実現はむづかしかった。中西印刷に相談することも進める。

上原幹事：中西印刷の委託内容はどのようなものか。

中西会長：会員入退会の管理、活動費のやりとり、会計管理、ニュース作成等である。

鮫島監事：それぞれの幹事の業務メンバーについて、リーダー、副リーダー他役割分担を明確にしてほしい

5) 第61回近畿産業衛生学会の進捗状況とシンポジウムの共同開催について

伊藤学会長から資料に基づいて説明があった。テーマは「大変革期の産業保健 ～withコロナ時代の将来展望～」とした。会場はバナソニックリゾート大阪でメイン会場300名の半分ぐらいの設定で予定しているとのこと。実行委員とタイムスケジュール(案)の説明があった。メインのシンポジウムを産業医部会、産業看護部会共催とすることの提案があり、意義なく了承された。技術部会は基調講演か教育講演を担当することとした。

ランチョンセミナーと懇親会は計画していないとのこと。

質疑応答

安田幹事：何らかの形で歯科のプログラムをいれることは可能か？

伊藤学会長：後日第1回実行委員会が開催されるので、そ

こで検討する。また相談させていただきたい。

村田幹事：オンラインの検討はされているか？参加率が上がることも経験する。

伊藤学会長：認定産業医単位がこれまでオンラインではだめだった。新たにオンライン可能との話が出てきているが、まだノウハウがないので、どうしていけばよいか検討していく。林理事：生涯研修・専門研修は来年度webで単位認める方向の話もあるが、条件等はまだ詰められてない。

6) ZoomのIDとPC購入について

地方会としてオンラインセミナーの開催のためにZoomのID(プロのアカウント)と、地方会としてのPC購入の提案があり、異議なく承認された。ウェビナー機能について森山幹事から追加の説明があった。

7) 総会・代議員会の実施方法について

Zoomとリアルハイブリッド開催について中西会長から相談があったが、意見を言える機会を保障すれば、わざわざ感染リスクを冒す必要はないとの意見が出て、昨年のように総会・代議員会を書面で開催することとした。

2. 報告事項

1) 大学・部会・研究会の連携プロジェクト(2/20web開催)

久保田理事から奈良医大の佐伯教授の研究室訪問について報告があった。ウェビナーで実施。3人の先生から講演があり、気温や光というありふれた環境が生活習慣病に及ぼす影響や、石綿や芳香族アミン等の発がんの話など、興味深い切り口のお話だった。参加者は46名だった。この形で継続するかは若手の活性化担当メンバーに委ねたい。

2) 第69回近畿地方会総会の特別講演・シンポジウム

林理事から新しい学術研修会の幹事で相談して実施したいとの提案あり、異議なく承認された。

3) 第62回近畿産業衛生学会学会長の決定

中西会長から、大阪大学の祖父江先生にお願いしてご快諾をいただいたことの報告があった。

祖父江幹事：コロナの状況によりハイブリッドも含め考えていく。

4) 地方会ニュースの発行状況とHP更新状況

清原幹事から資料に基づいて説明があった。ホームページ更新状況とアクセス状況はコロナの影響で減っている。地方会ニュースは今月末に原稿依頼予定である。ニュースの記事の執筆の分担について(会員の声、学会等に参加して等)各部会の担当があるとありがたいとの提案があり、看護部会は広報のご担当に、医部会、技術部会は各部会長に依頼することとした。歯科の先生もお入りいただいたので、持ち帰って検討していただくこととした。

5) 本部署理事の報告

井上理事から報告があった。総会と全国協議会は大きな都市でない会場確保が難しいので、2023年から総会は5大都市で順に開催する案になっている。運営会社についても本部が一括して契約することも検討している。また地方会の事務局負担の課題もあり、検討されている。94回総会は松本市で会場とオンデマンドでの開催予定。次の総会は高知で2022年5/25～28でハイブリッドの予定とのこと。全国協議会については今年は三重県で12/3～5でハイブリッド開催予定。来年は北海道の予定である。

6) その他

中西会長から幹事間での連絡のために名簿作成について依頼があり、了承された。別途メールで依頼する。

質疑応答

村田幹事：来年度予算に委託費が計上されていないが、ほかの業者に頼むとしたら大丈夫か？

中西会長：予算は11月に策定しているので、委託費はリアル開催が少ないことを見越して少なめに計上している(計上していないわけではない)。単年度黒字のためには他に頼むとしても委託費はやはり40万円程度が限度のようだ。

最後に退任する幹事から挨拶を頂戴した。

圓藤吟史幹事、圓藤陽子幹事、荒木幹事、久保田理事

以上

令和3年度・産業精神衛生研究会のご案内

テーマはアンケート希望のトップである
「パーソナリティ障害の対処を巡って」
です。



イラストのような言動の対処に苦慮する職場関係者は多いでしょう。この分野に詳しい下記のメンバーで行います。座長は富永なおみ産業医です。自由討議の時間をたっぷり取っていますから、様々な視点から意見交換をし、ヒントを掴んでいただければ嬉しいです。

10月27日(水曜日) 午後6時半から9時前まで、
エル大阪南館5階

座長：富永なおみ(読売テレビ 産業医)

演者：精神科医の立場から 夏目 誠

産業医の立場から 木村 隆(近畿健康管理センター 理事長)

産業看護職の立場から 藤吉 奈央子
(Harmony ~ Life & Work ~ 保健師)

参加費：学会員は1,000円です。多数の会員の参加を希望します。

【お申込み・お問合せ】

産業カウンセラー協会関西支部(担当：矢野)

TEL：06-4963-2357 FAX：06-4963-2358

メールアドレス：sanseiei@jica-kansai.jp

詳しくは地方会ホームページを参照してね

産業精神衛生研究会の新たな代表幹事は近畿健康管理センター理事長の木村 隆先生ですが、引継ぎの関係上、今年度は夏目 誠が代行します。

(文責 夏目 誠)

大学・部会・研究会の連携プロジェクト第9回研究室訪問

日本製鉄関西製鉄所／NSメディカル・ヘルスケアサービス

岩根 幹能

2021年2月20日に奈良県立医科大学疫学・予防医学講座にて実施しました。初めてのオンライン開催で、過去最多46人が参加しました。

1. 「室温の健康影響に関する疫学研究」(佐伯圭吾教授) 冬の気温低下に関連する死亡は年間9.4万人で、喫煙12.9万人、高血圧10.4万人に匹敵します。平城京Studyは1,000戸超の家庭に環境測定装置を設置し、夜間畜尿や活動計のデータを得るといって、参加者に密着したコホート研究です。高精度の客観データにより室内温度が血圧、睡眠、夜間頻尿と関連することが明らかにされ、また、外気温が低いほど各家庭の室内温度にばらつきが出ることから、断熱性能や暖房設備の重要性が示されました。
2. 「化学物質取扱い労働者の発癌リスクに関する歴史的コホート研究」(富岡公子特任准教授) 職業癌は潜伏期間が長いために因果関係を明らかにすることは容易ではありません。①アスベスト曝露作業

者の肺がん死亡が2.64倍高いこと、②芳香族アミン曝露作業者は肺がん罹患が2.2～2.6倍多いことを示されました。罹患の特定は死亡よりも大変で、大変なご苦労が伝わってきました。また、③23研究1745人のメタ解析で、芳香族アミン曝露作業者の肺癌罹患リスクが1.28倍であると明らかにされました。

3. 「光曝露の健康影響に関する疫学研究」(大林賢史特任准教授) 就寝前4時間の光曝露で肥満になりやすいこと、メラトニン100ルクスといった薄暗い環境では88%も減少すること、3ルクスといった微弱な光がでも減少し肥満になりやすいなど、インパクトのあるお話でした。

最後に車谷典夫名誉教授が閉会の言葉として、温度環境や光環境はすべての人が無関係ではられないもので大変重要な研究結果が出されていること、今後の発展を期待されていることを述べられました。

会員の声



《人々の「生」を衛る》を大切に！

大阪大・医・保・公衆衛生看護

岡本 玲子

大阪大学では、2018年度より大学院での保健師コースをスタートしました。保健師は公衆衛生のフロントランナー。災害や感染症への対応、いじめや虐待の予防、生活習慣の改善や生きにくさのある方への支援など多様で複雑な課題に取り組む職種。そして、かつて経験したことがない事態にも果敢に挑み新たな知恵を産み出し続ける宿命を負った専門職でもあります。

求められる高度な実践能力と研究能力をどのように育めばいいのか、教員一同悩みながら、学び合いをモットーに、アクティブラーニングを駆使した教育を行っています。その中で大切にしているのは、いつも《人々の「生」を衛る》という原点から物事を考えることです。元大阪大学公衆衛生学教授の丸山博先生、適塾の塾生だった長与専齋先生らの言葉から、衛生の「生」には「生命」「生活」「生産」「生きる権利」という人々の生存

に関わる多様な意味があることを学び、胸に刻んでいます。

「生産」を衛ることは、まさに産業衛生の使命と思います。長く続くコロナ渦においては、その課題が溢れ出し、労働者の「生」を衛ることの難しさが露呈しています。産業保健の公衆衛生従事者にできることは何か、行政保健の公衆衛生従事者には何ができるのか。ますます互いの連携と協同が求められていると痛感します。ビルドバックベターを実現するために、産業衛生学会の活動と知見から多くを学ばせていただき、行動に移していきたいと思えます。

最後に、当方が学術術集会長をさせていただく6th Global Network of Public Health Nursing 国際学会の案内をさせていただきます。第10回日本公衆衛生看護学会学術集会との合同でのオンライン開催です。ぜひご参加をご検討ください。

【ご案内】2022年1月8日(土)・9日(日)、国内学術集会長 松本珠実(大阪市)、大会テーマ『平時が大事！リスクに備え「生」を衛るポジティブヘルス』、演題登録6月1日～8月23日、ホームページ：

<http://web.apollon.nta.co.jp/10ja-6gnphn/index.html>



ICT活用でピンチをチャンスに！マインドで～

パナソニック(株)LS社本社・健康管理室

渡邊 江理

2020年4月新型コロナでの1回目の緊急事態宣言が発令されたとき、テレワークでの在宅勤務が急加速で浸透していき、従業員対応業務に工夫が必要になった。

定期健康診断や特殊健康診断などの法定健診をどのように安全に実施するのか、会社や健康管理室スタッフ全体で知恵を絞り感染対策を万全に考え、できる事をすべて実施した。2020年度は、通常業務をいかに「安全に諦めずやりきる」のか。実施方法や内容を会社と健康管理室スタッフで模索し「諦めずやりきる」マインドで前に進んだ。会社は在宅勤務用にICTを導入し、従業員とICT面談の環境が整い、面談スケジュールを組みやすい状況になった。

当初は在宅勤務なので、面談の約束をしづらいのでは？と予想したりもしたが、実際にはICT面談は従業員と予定をたてやすく、呼び出しの返事のレスポンスも

早く対応される方が多かった。通年の保健指導のマンネリ化がICT導入で新鮮に感じられた事も考えられたが、在宅勤務でメールのチェックが実施しやすかったり、長期出張が出来なかったり、通勤時間がない分、余裕のある対応ができた等々の要因が考えられた。

ICT面談が浸透してくると、来所しないでも面談できるので、健康管理室での対面の面談は約束しづらくなるのではないかと予想したが、勤務の出勤日に併せて対面での面談を希望される方も多く、対面コミュニケーションを望む従業員も多かった。従業員のニーズに合わせて対面とICT面談という「武器」を得られたことは、ピンチをチャンスに、前向きなマインドに変える事になった。

これまでの日常とは異なる価値観を持つ「ニューノーマルな日常」の受け入れが必要となっている。戸惑ったことも多い中、おかれた環境を考慮して知恵をどのように絞るのか？どうすればこの環境で任務遂行を実施出来るのか？色々な分野で模索されている。この状況は、困難に適應する力も身に着ける事ができ、個々にスキルアップできる機会となった。

「できない」と考えるより「諦めずにやりきる」マインドは実行する大きな力と感じた2020年度であった。



産業医部会活動を通じて

パナソニック健康保険組合
健康管理センター

伊藤 正人

令和元年度より近畿地方会で産業医部会長を拝命しておりますが、同産業医部会は現在約260名の先生方に会員になって頂いております。これを19名の幹事および2名の監事で構成された幹事会により産業医部会の運営が行われております。特に年一回、秋に開催される産業医部会研修会が最大の行事となります。昨年度は大阪市大・医・神経精神の井上教授を実行委員長として、webで「新型コロナウイルス感染症禍の産業保健」を開催いたしました。今年度は第61回近畿産業衛生学会のなかで、産業看護部会と共催で「コロナ禍での職域における生活習慣病対策（仮）」を企画しております。皆様におかれましては振るってご参加の程、宜しく申し上げます。

さて私自身ですが、松下記念病院に研修医として入職し、同じ職域で35年以上が経過しました。その間、臨床・健診・海外医療・産業医等の産業保健分野を広く

経験させてもらいました。現在は健康管理センター所長として全国に展開しているパナソニックグループの健康管理室160箇所、及び東西に設置している同センター等の運営管理に携わっております。自分では現場が性に会っていると思っておりますが、残念ながらマネジメント業務主体にて、現在は現場の一線から離れております。しかし、例えば「安衛令の一部改正で、この4月1日から施行されているアーク溶接作業に関わる労働衛生の管理強化など…」、現場に係わる情報に対し常に敏感にアンテナを立てておかないと、昨今の早い動きについていけなくなります。つまり生涯学習が求められます。また、職場では現場・現物・現人の「三現主義」に基づいた産業保健活動も強く求められます。このような中、専門分野の違う先生方が集い、衆知を集め「労働者の健康障害の防止および保持増進」、ひいては「快適な職場づくりへの支援」という高邁な目的が日本産業衛生学会にはありますので、会員の皆様とは部会の枠組みを越えて、広く協力関係を築いていきたいと日頃から考えております。関係各位の変らぬご指導をどうぞ宜しくお願いします。



信頼される作業環境測定士を目指して

関西環境科学株式会社

中家 隆博

私は、10年前に作業環境測定を専門に行い、また労働衛生の相談窓口として活用していただける企業を目指し、会社を設立しました。

これからの時代を生き抜くためには、最新の情報が必要と考え、毎年、作業環境測定研究発表会等に参加して一年間の成果を発表するとともに、情報の収集に努めています。

日本産業衛生学会との出会いは、生涯教育委員会のベストGP賞の受賞です。表彰を受けることになり、初めて学会に参加させていただきました。今まで参加していた学会とは違い、産業医の先生方をはじめ、産業衛生に係るあらゆる分野の専門家の先生方の発表に心を動かされ、これ以降は毎年参加させて頂いています。

皆様もご存じの通り、今年の4月1日から溶接ヒュームが特定化学物質障害予防規則に加わり、規制の対象となりました。まずは溶接ヒュームの濃度測定を個人ばく露測定法により実施する必要があります。わが国では、

個人ばく露測定による評価は初めての導入となったため、サンプラー等の測定機材の選定からスタートしました。実際に複数の現場でデータを採取して、測定精度の確認を行うとともに、自分に個人サンプラーを装着して、作業の方の負担を軽減させる方法を幾度となく検証しました。そのデータを活用して出来るだけ作業の邪魔にならず、各事業所に適した方法を提案できるように努めています。

私は常に、傾聴力、コンサルティング力、提案力及びコミュニケーション力を高めるように意識しています。これらの能力を高めることで、作業環境測定士としての成長に繋がり、作業環境測定をより有益なものに導くことが可能となります。これからは、高い技術を身につけた作業環境測定士が重要視される時代となることが予想されるので、私にとって日本産業衛生学会は、大切な勉強の場となっています。

作業環境測定士として労働衛生の部門で何ができるのかを念頭に置き、顧客と作業環境測定機関との間で築きあげた信用や信頼により、互いに「ありがとう」と言い合える関係を少しでも多く構築出来るように日々精進してまいります。これからもご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

第 61 回近畿産業衛生学会のお知らせ



パナソニック健康保険組合
健康管理センター

伊藤 正人

時代の変遷によりターゲットとすべき健康障害要因が大きく変化し、その都度、産業保健のメインテーマが変化してきました。今回、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大をきっかけに、産業保健活動の在り方や仕組み自体が根底から変革される可能性も出てきています。

このような中、産業保健の「原点」とも言える太い横軸（コアコンピタンス）について、将来展望も交え広く議論したいと思います。

是非、ご参加ください！

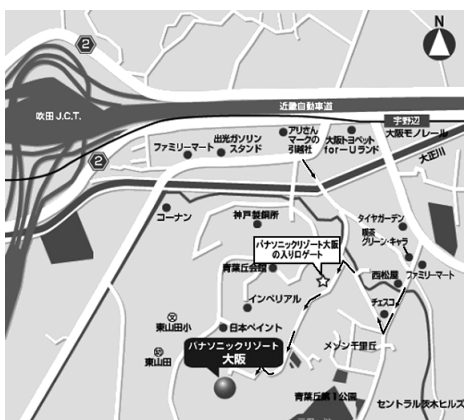
1. テーマ：「大変革期の産業保健～ with コロナ時代の将来展望～」

2. 会場：パナソニックリゾート大阪

〒565-0802 大阪府吹田市青葉台南 10-1

https://phio.panasonic.co.jp/resort/r_osaka/access.htm

※当日は、混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。



3. 日時：令和3年10月23日（土）9：20～17：20 予定

4. プログラム

午前…一般演題

(1) 教育講演「快適なテレワークのために～作業管理と作業環境管理を中心に～」

演者：辻村 裕次（滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門 助教）

昼…幹事会

午後…代議員会

(2) 基調講演「コロナ時代の職域における循環器病疾患の管理（仮）」

演者：坂田 泰史（大阪大学医学部循環器内科 教授）

(3) シンポジウム「コロナ禍での職域における生活習慣病対策（仮）」

（兼 第26回近畿産業医部会研修会・近畿産業看護部会「第一回定例研修会」）

※日本医師会認定産業医、産業保健看護専門家の研修単位認定申請中。

5. 一般演題申込（詳細はホームページでご確認ください）

(1) 演題申込

第61回近畿産業衛生学会ホームページよりダウンロードした「演題申込用紙」に必要事項をご記入の上、8月31日（火）までに、事務局までメールでお申込み下さい。受付完了の返信を1週間以内に送りますので、返信がない場合は事務局へお問い合わせください。

一般演題の筆頭演者は、日本産業衛生学会の学会員であることが必要です。会員でない方は、入会手続きを事前に行ってください。

(2) 抄録の作成：「発表抄録原稿」および「産業衛生学雑誌投稿用400字原稿」

学会ホームページより「発表抄録原稿の作成要項」をダウンロードし、要領に従って作成して下さい。また産業衛生学雑誌に掲載するための本文400文字以内の原稿も作成してください。2つの原稿を9月18日（土）までに事務局までメール添付でお送り下さい。（FAX・郵送不可）

(3) 発表者用パワーポイントファイル

発表方法はPowerPointのみとします。発表用データは、10月12日（火）までに事務局へメール添付でお送り下さい。原則として、学会当日の受付・差し替えはいたしません。メールの件名は「発表データ（演者氏名）」としてください。10月19日（火）14時までに受領確認の返信メールをお送りします。14時を過ぎても返信メールがない場合は、恐れ入りますが事務局にメールでご確認をお願い致します。

一般演題の構成は、発表7分+質疑応答3分（移動時間込み）の予定です。

発表方法はWindows版PowerPoint（Office 2007・2010・2013のみ、2016は不可）とします。画面の解像度はXGA（1,024×768）（4：3）をお願いいたします。標準フォント以外は正常に表示されない可能性があるため、使用を避けてください。動画ファイルをご希望の方は、事前に事務局へご相談ください。対応できない場合があります。

6. 近畿産業衛生学会優秀演題賞と若手奨励賞

優れた演題の発表者に対し優秀演題賞が贈られます。また今回も若手奨励賞を設けます。対象者は一般演題の発表者の内、学生・若手研究者（申込時に40歳未満）に該当する方です。該当者は演題申込用紙の所定の欄に○印をつけて下さい。多数の演題申込みをお待ちしております。

7. 事前登録・参加費

(1) 日本産業衛生学会の学会員 1,000円、大学院生・学生 1,000円、その他 2,000円

当日受付も可能ですが、参加者数把握のため10月6日（水）までにホームページにて事前登録にご協力下さい。

(2) 日医産業医研修の単位取得（以下、別途必要）
3,000円（計3単位）

8. その他

(1) 昼食

会場内では、原則、食事の持ち込み禁止となっております。施設が提供するお弁当以外は食事ができません。必要な方は、事前にお弁当（1000円）の予約をお願いします。

(2) 託児所について

コロナ感染対策のため、託児所については設置しません。ご理解をお願いいたします。

(3) 駐車場について

公共交通機関の利用をお願いしておりますが、やむを得ず自家用車でお越しの方は、パナソニックリゾート大阪の駐車場を有料（1日1000円）にて利用できます（要事前申請）。

台数に制限ありますので、ご理解をお願いします。

9. 演題申込・問い合わせ先

第61回近畿産業衛生学会 学会事務局
パナソニック健康保険組合健康管理センター
〒570-8540
大阪府守口市外島町5番55号
担当 宮川 清美
Eメール：kinki61@k-ohcf.com

10. 実行委員

事務局長：深井 恭佑（㈱リードウェル 医師）
顧問：圓藤 吟史（中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター 医師）
顧問：廣部 一彦（(有)阪神労働衛生コンサルタント 医師）
顧問：林 朝茂（大阪市立大学大学院医学研究科 医師）（五十音順）
黒木 和志郎（パナソニック㈱CNS京橋健康管理室 医師）
鮫島 真理子（兵庫産業保健総合支援センター 保健師）
鈴木 純子（大阪産業保健総合支援センター 保健師）
津田 恵理（パナソニック㈱本社健康管理室 医師）
津田 由紀（パナソニック健康保険組合健康管理センター 保健師）
中井 栄（パナソニック健康保険組合健康開発センター 保健師）
長見 まき子（関西福祉科学大学健康科学科 公認心理師）
西田 和彦（長谷工クリニック 医師）

橋口 克頼（パナソニック健康保険組合健康管理センター 医師）

平田 真以子（㈱クボタ人事部健康管理室 保健師）

藤田 周弥（さんぽワークス株式会社 医師）

森 雅子（みずほ健康保険組合 大阪健康開発センター 保健師）

11. 共催・後援（予定）

共催・・・大阪府医師会・大阪産業保健総合支援センター
後援・・・関西産研

12. 大会ホームページ

<https://jsoh-kinki.jp/jsohkinki-61/>



スケジュール要約

8月31日（火）	一般演題登録 締切
9月18日（土）	抄録集用原稿・産衛誌用 400字抄録 締切
10月6日（水）	事前参加登録 締切 弁当受付 締切
10月12日（火）	発表スライド 受付締切

コロナ禍における産業衛生技術部会の活動を振り返って

関西福祉科学大学・健康福祉学部／EAP 研究所

長見 まき子



ワクチン接種が開始されて、新型コロナウイルス感染症対策も新たなフェーズに入ってきましたが、大阪では第4波の感染拡大となり、産業現場でご対応されている会員の皆様はお忙しくされていることと思います。

さて、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策に振り返られた一年でした。年度の研修会を「ハラスメント予防教育につなげるアンガーマネジメント」をテーマとして企画し、大変多くの会員の皆様からお申し込みをいただいていた。2020年3月の実施予定を2021年2月に延期してなんとか開催しようとしたが、とうとう開催できずに終わりました。総会も第60回の近畿産業衛生学会内での実施を予定していたのですが、学会自体が開催されなかったために実施できませんでした。予定していた活動ができず、会員の皆様には大変申し訳ないことになりました。

今年度は2021年3月20日（土）に中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センターにて「溶接ヒュームの暴露防止」をテーマにして産業衛生技術部会研修会を実

施することができました。特定化学物質障害予防規則等の改正が行われ、特定化学物質に溶接ヒュームが加わったことから、現場の関心も高く、近畿地方会 HP に広報して2・3日で申し込みが定員を超え、参加申し込みを打ち切りにし先着順で参加者を決めさせていただきました。研修会当日も質問が多くとても非常に活発なやり取りが行われており、主催者としても手ごたえを感じておりました。参加者全員が回答された事後のアンケートでは全体の満足度が100%となり、高評価を得ました。タイムリーなテーマ設定と現場で役立つ内容の研修であったことが満足度の高さにつながったものと考え、現場のニーズを的確に把握して皆様にご満足いただける研修を今後も企画・実施していければと思います。

また、今年度の総会は10月23日（土）に開催予定の第61回近畿産業衛生学会会場（パナソニックリゾート大阪）において開催予定です。

今年度も産業衛生技術部会の活動へのご参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

産業看護部会からのお知らせ

会員の皆様、いつも産業看護部会活動にご支援いただきありがとうございます。

2021年度より新体制での産業看護部会活動がスタートいたしましたので、新組織体制と主な活動計画をご報告させていただきます。

【近畿産業看護部会新体制（2021/3/1～2023/2/28）】

部会長	鈴木 純子	
副部会長	平田 真以子	藤吉 奈央子
総務	中井 栄（会計）	堤 梨恵（広報）
教育	◎村田 理絵	○森 雅子
	○森田 理江	荒木 郁乃
	□中田 ゆかり	□林田 千雅子
	中村 千賀	調整中
監事	鮫島 真理子	益江 淑子

◎：リーダー ○：サブリーダー □：広報兼務

【主な活動計画】

- 定例研修会の開催（オンライン研修会含む）2回予定
第1回 近畿産業医部会との共催で合同研修会開催予定（10/23 近畿産衛学会開催時）
第2回 2022年1月オンライン研修会開催予定
- ホームページの充実
部会活動の紹介、研修会案内と報告、本部産業看護部会研修会の案内、専門家制度委員会情報をタイムリーに掲載、「幹事の声」継続等

【本部情報】詳細は下記 URL でご確認ください。

- 産業看護専門家制度登録者試験
日程：2021年6月26日（土）14：00～
場所：東京工科大学蒲田キャンパス（大阪・福岡開催予定）
詳細：<http://hokenkango.sanei.or.jp/>
- 登録者試験準備講座（オンデマンド開催）
期間：2021年4月24日（土）～5月8日（土）予定
詳細：<http://sangyo-kango.org/wp/>

【その他】

子育て中の学会参加ヒント集（ダイバーシティ推進委員会）が学会本部会員専用ページから見ることができます。

是非ご活用ください。

部会では、会員の皆様のニーズを踏まえ、ニュー・ノーマル時代に沿った研修会、ネットワークづくり、メルマガ配信等による情報提供や広報活動の強化を考えていきます。

一人でも多くの方に産業看護部会に入会いただき、部会活動に積極的にご参加いただくと共にご支援いただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。

産業衛生技術部会からのお知らせ

今年度の研修は「溶接ヒュームの暴露防止」をテーマに2021年3月20日（土）に開催され、定員一杯の参加を得て好評裏に終了いたしました。ご参加いただいた会員の皆様、大変積極的に受講いただきありがとうございます。

2021年度産業衛生技術部会総会を10月23日（土）に開催予定の第61回近畿産業衛生学会会場（パナソニックリゾート大阪）にて、12：00～13：00に開催します。日時が近づきましたら、あらためてご連絡いたします。産業衛生技術部会の活動を盛り上げるためにも、皆様、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

また、第61回近畿産業衛生学会の教育講演は産業衛生技術部会の企画です。滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門助教の辻村裕次先生に「快適なテレワークのために～作業管理と作業環境管理を中心に～」という演題でご講演いただきます。With コロナの時代の作業環境の最も大きな変化はテレワークによる職場環境の在宅化だと思われます。自宅が作業の場になったことで、本来は衛生管理者、産業保健スタッフによって行われていた作業環境管理が労働者個人に任されることになり、腰痛をはじめ様々な健康障害や問題が生じています。演者の辻村先生は職業性筋骨格系障害研究会のメンバーかつ、日本人間工学会認定の人間工学専門家で、テレワークに関することにお詳しく、筋骨格系障害の予防について人間工学の観点からご講演頂けるものと大変期待しております。会員の皆様のご参加をお待ち申し上げております。

近畿産業衛生技術部会長 長見まき子

編集後記

今年度より担当理事として新たに編集委員の末席に加えていただきました大阪市大・神経精神科の井上幸紀です。

2019年末から猛威を振るうコロナ禍は波打ちながらすでに1年以上継続しております。最近ワクチン接種が日本でも始まりましたが、果たしてこのコロナ禍がどう推移していくのかは注意深く見守る必要があります。

コロナ禍でテレワークや在宅勤務が導入された、経済活動が低調となり休業者や失業者が増えた、ワクチン接種開始でオリンピック関連事業がどうなるのかなど、社会状況が変われば労働者に様々な影響が生じます。産業

衛生に関わるものとして、これら様々な変化を踏まえて適切に活動することが求められます。多方面にわたる産業衛生情報の宝庫である地方会ニュースが、より一層充実するよう微力ですが尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。（井上 幸紀）

編集委員（50音順）

井上 幸紀（担当理事） 清原 達也（当番編集長）
谷池 正行 村田 理絵